

第21回二宮町議会基本条例推進委員会次第

平成28年11月25日（金）
午前11時～
第1委員会室

議 題

1. 第8回議会報告会及び意見交換会について
2. その他

*** 報告**

①9月決算の議会報告会および意見交換会を実施

11月5日(土) 山西防災コミセン

11月6日(日) 町民センター 百合が丘児童館

②公開用記録資料の整理と過去2年間の反省会の開催

11月21日(月) 13時～16時 第1委員会室にて

—反省会で出された意見は大きく2点—

○ 参加者が少ない

- ・やっていることが専門的という印象になり参加できないという町民意見を聞いた。
- ・参加してもらうために地区の役員会等に出向くという議論もあったが、現実的には集まっている延長に時間を作ってもらうのは難しい。
- ・ネーミングが固いので、ご意見承り会、意見聞きます会、困りごと聞きます会というニュアンスにするのも良い。ネーミングを考えたい。
- ・議会に言っても変わらないと思っているので参加しない。
- ・議会に言えば決まると思っている町民の方もいる。
- ・町と同じ報告では魅力ない。結論に至るまでの審議過程、議論の争点等を知りたいというご意見も多い。

○ 報告するにも、そもそも議会中の議論形成が少ない→「意見交換」の活用を活発にするべき

- ・「意見交換」の時間を陳情だけでなく議案に対してもできるようにできるようにしてはどうか。
- ・「意見交換」が使いにくい。質問→討論→意見交換→採決という順番にしたらどうか。
- ・「意見交換」を陳情審査にとりいれたのは試行ということであったが、そろそろ検証するべきだ。
- ・議案の採決が決め難いものは継続審査を取り入れ、次審査までの間に町民意見を聞きながら議論を深める、というのはどうか。

*** 議題**

① 意見交換会の持ち方について

- ・良かった点
- ・継続や見直したい点

② その他

議会基本条例推進委員会打合せメモ

作成：2016/11/24 野地

日時：11月21日（月） 13：00～16：00

場所：第一委員会室

出席委員：根岸、添田、桑原、小笠原、二見、前田、杉崎、善波、二宮、野地
（敬称略）

傍聴議員：渡辺、露木

議題：① 11/5、11/6 議会報告会&意見交換会報告書内容

- ・ 議会報告会報告書（3枚）、意見交換会報告書（3枚）、アンケート集計（1枚）をプロジェクターで確認その場で修正する。
- ・ 百合が丘児童館議会報告書1か所、山西コミセン意見交換会報告書2か所執行者側へ確認し追記のこと → 野地
- ・ 11/25 委員会承認→ 全協で最終承認をしてもらい、その後 HP で公開

② 1年間を総括、次期委員会への申し送り事項（次期委員会へ託すこと）

●参加者が少ないことについて

- ・ 専門的で参加しない
- ・ ネーミングが固い（ご意見承り会、意見聞きます、困りごと聞きますよ会など意見も）
- ・ 地区の役員会等に出向いての報告会は、時間を作ってもらうのが難しい
- ・ 議案を受け取り町民に聞く→その後採決とする方法もある（次回定例会まで採決延長）
- ・ 議会に言えば決まると思っている町民もいる
- ・ 町事業、議会の賛否結果だけでなく、結論に至るまでの審議過程、議論の争点等を知りたがっている
- ・ 陳情だけでなく議案に対しても「意見交換」できるよう全協に提案、議運で審議を
- ・ 全協へ委員会、特別委員会での意見交換採用を提案する
質問→ 討論→ 意見交換→ 採決
- ・ 陳情での「意見交換」は試行として行った経緯がある。そろそろ検証をするべき
- ・ 意見交換のネーミングを考えたい

●意見交換会テーマの持ち方については提案とくになし

以上

5. 今後取り上げて欲しいテーマについてご意見・ご希望がありましたらご記入ください。
- : 意見を出しても無理
 - : 報告はあまりいらぬ(議会だよりがあるから) やるなら議会だよりはいらぬ
 - : 空き家、空き店舗については重要なテーマと考えているので、より時間を割いて頂きたい
 - : 小中一貫校について、もっと詳しく知りたいその後の建物について等
 - : 小中一貫校に学校統合、空いた学校へ町庁舎を移す(案)
 - : 町づくりの方向性
 - : 公共交通について・町財政について
6. 議会報告会・意見交換会についてご意見がありましたらご記入ください。
- : PRが足りない
 - : 発言しましたが議会としての考えとか問題意識とかを組み立ててほしいと思います
 - : 今回の形態は良かった
 - : 意見交換会をひんぱんにやるのがいいと思う
 - : 今回時間的に短かった様でしたので交換時間がもっとあれば・・・
 - : 町民の意見を聞いたことを行政に伝えて
7. 議会に対してご意見・ご要望がありましたらご記入ください。
- : 別になし、選挙の時に考える
 - : チェック機能頑張って
 - : がんばってください
 - : 報告会には以後出席したい。知りたい事が多いのも町がどの様な状況か?
 - : もう少し時間がほしい、町内会の三役も出席するようプツシュする
 - : 多くの方が集まる様な方法を考慮していただきたい
 - : 透明性、議会、本会議で要望だけでなく徹底議論してほしい

以上、原文の通り

議会報告会質疑応答記録

記録作成：議会基本条例推進委員会

○開催日時：平成28年11月5日（土）10時00分～12時00分

○開催場所：山西防災コミュニティーセンター

○参加者：11名

○主催者側：議員（14名）、議会事務局（3名）

○次第 ①挨拶（添田議長）

②平成27年度決算概要報告… 決算審査特別委員長（根岸副議長）

③総務建設経済・教育福祉各常任委員会より重点施策・事業について説明

④上記説明に対する質疑応答

⑤グループ意見交換会… A：二宮町公共施設の将来構想について

B：地域と学校のあり方 は希望者なく実施せず

⑥まとめ

<議会報告②③に関わる質疑応答>

参加者：ゴミのところで、大きな処理の話をされた。ゴミは大きな処理のことだけでなく、出るところが大事。私たちが減らす、分別、リユースをしっかりとやらないといけない。そちらに対する施策はどのようになっているか。

添田議長：ゴミ減量化、水を絞るということ、それが基本。一市二町になって分別が変わり、分別方法は進んだと思う。議会の議論をしている中でそのように感じている。

参加者：せっかくプラクルなのに、汚いのを入れてしまうとか、どこに分別するのかとか大丈夫なのかと思う。子どもたちにも積極的に伝えていかなければならない。

参加者：同居・近居推進事業予算は800万円だが執行額は180万円と低い。条件が厳しかったのか。

添田議長：新築は80万円、リフォームは50万円、賃貸の引っ越し費用として10万円がそれぞれ上限。リフォームは町の業者であること。65歳以上の家庭であり、同居する人が55歳以下であること。引っ越しの条件は5年以上町に住むことが条件。都市整備課と健康づくり課でやっていることがアンバランスを生む。厚労省からの補助金なのだろうが連携ができていたのか、真剣な取り組みがなされてきたのか議会でも質問があった。

参加者：せっかくお金がついていて、執行者側はどういう解釈でやっているのか。ただ広報に載せてこういうのがありますよ、というのではなくて。生産人口が増えれば税金も入ってくるはずなのに。すでに同居している人は対象外なのか分からないし、そもそも条件は町が独自で決めたのか、国なのか。

添田議長：国の基準に町が加えたのではないかと思う。結果だけでなく、議会の今後の改善点として、予算から決算に至るまで通年で審査できるようにしなければならないと考えている。

参加者：空き家は 245 軒あるという。空き家対策、特別措置法とあるが、特定空き家はどのような計画の中で進んでいるのか。

添田議長：同意なくして壊すとか、それについてはまだ条例化などの話は出ていない。

参加者：議会だよりに歳入項目を入れたほうがいいのではないかと。

添田議長：広報にのみやに出ていたため重複を避けたかった。

参加者：子どもは医療費がかかる。かかる前に病気にならない体をつくるのが大事。給食、食を大事にしたいと考えるが自校式に変えていけると嬉しい。町の食材を使い、給食センターの職員は調理員として入っていただく。二宮の給食美味しいよと、それをアピールして二宮に来てもらう。それと貧困で住むところが危うい方のためにも、公団地は綺麗にするとか住みやすくして欲しい。それで呼んでほしい。これは意見。

小笠原議員：給食についてだけ。今、学校に自校式をつくるのは途方もなく夢のように苦しい。今ある新しいセンターを利用して、地場産のものを使って、より良いものにしたい。保護者は放射能汚染のものを食べさせたくないというのはあると思う。

参加者：温水プールは濁っていたり、暖房がきかないなど相当ひどい状態だが、今後どうしていくのか。

小笠原議員：公共施設の見直しの中で考えていく。老朽化しているのは事実だが何年度にやり直すから積み立て、ということは一切していない。はっきりと今後のことは言えない。町レベルで温水プールを持っている行政はなく、それだけ財政的には相当の負担となっている状況にある。袖が浦プールは休止となり、学校授業ではバスで温水プールに行っているの、その部分での必要性は高い。

二見議員：指定管理者の質問をしたときに、温水プールは改修しないと手を上げる指定管理者がないということをお答えしている。

(以上の質疑応答の後、グループに分かれ意見交換会を開催)

議会報告会質疑応答記録

記録作成：議会基本条例推進委員会

- 開催日時：平成28年11月6日（日）10時00分～12時00分
- 開催場所：町民センター
- 参加者：2名
- 主催者側：議員（14名）、議会事務局（3名）
- 次第 ①挨拶（添田議長）
 - ②平成27年度決算概要報告… 決算審査特別委員長（根岸副議長）
 - ③総務建設経済・教育福祉各常任委員会より重点施策・事業について説明
 - ④上記説明に対する質疑応答
 - ⑤グループ意見交換会… A：二宮町公共施設の将来構想について
B：地域と学校のあり方（A B：合同開催）
 - ⑥まとめ

<議会報告②③に関わる質疑応答>

参加者：後期高齢者のことだけ考えている。高齢者の安心と安全な・・・昔から長寿の町として有名。町民体育祭競技の親子3代リレーに兄が生前出て、非常に喜んでいった。なぜ三代リレーが無くなったのか。二宮の看板（長寿の里）を外したのはなぜか。

小笠原議員：各地区で三代を探すことができない。超高齢化になってしまっていて、人数が揃わない。今年は大幅見直しをした。今まではリレーも学年ごとだったのが、まことに申し訳ないが時の流れの中で人が集まらないということ。

参加者：下水道事業特別会計について。下水道事業について前回聞いたとき、突如値上げしたと。それでも歳入が目標に達しなかったのか？この事業って見通しがどうなっているのか？なぜ値上げする必要があるのか？

桑原議員：一般会計4億のうち3億は雨水対策、汚水は1億で使用された。一般会計のほうに受益者負担ということで戻さなきゃいけない。それだけお金が足りなくなってきた。値上げは今年の7月からであり、基本料金は1,560円だったのが1,764円になった。下水道審議会では、値上げに対する町民の反応はどうであったか、どういう背景で値上げをしたのか、という話はあったが、値上げに対する反対はなかった。

添田議長：値上げの直接の理由は把握していないが、下水道特別会計は下水道料金だけでは運営できない。その不足分をどうしているかというのと、一般会計から繰入れしている。下水道に接続していない人たちからすると、一般会計から出ているとなると受益者負担になっていないことになる。一般会計からの繰出しを減らし独立採算に近づけていく。今回あげても受益者負担として100%にならないので、歳入歳出を下水道料金だけで賄うのが最終目標になっている。3億から4億円を一般会計から繰入れしている。値上げしても経費回収率は70.8%にしかならない。

二見議員：下水道アクションプランで合併浄化槽を推進していくことになっている。調整区域は合併浄化槽で対応する予定。

小笠原議員：下水道アクションプランは27年度に業者に864万円で委託している。また酒匂川流域下水道処理事業への負担金もある。非常に下水道は厳しいものがあると思う。

参加者：一色小学校区再生協議会がイメージと違ったなと思っている。小学校とか中学校をどうするのかという問題、それに対してやるのかと思っていた。一色小学校の校舎を利用して地域再生に結びつかないかという話があったように思う。学校をうまく使って教育と共存しながら、ということを考えて1,000万円のお金を使うと。それを他の学校のモデルになると思っていたが進んでいるか。

小笠原議員：友情の山部会。小学校を側面から支える方々で構成されている。コミュニティスクールについて検討する部会にスライドすると言われている。28年度の予算でコミュニティスクールの研究は教育委員会で進めている。地域からも委員が選出されていて、その検討部会に入っている。会議は2回目をこれからやる。コミュニティスクールについては、ぜひ意見交換の場でやらせていただくと嬉しいです。

(以上の質疑応答の後、グループに分かれ意見交換会を開催)

議会報告会質疑応答記録

記録作成：議会基本条例推進委員会

- 開催日時：平成28年11月6日（日）14時00分～16時10分
- 開催場所：百合が丘児童館
- 参加者：13名
- 主催者側：議員（14名）、議会事務局（3名）
- 次第 ①挨拶（添田議長）
 - ②平成27年度決算概要報告… 決算審査特別委員長（根岸副議長）
 - ③総務建設経済・教育福祉各常任委員会より重点施策・事業について説明
 - ④上記説明に対する質疑応答
 - ⑤グループ意見交換会… A：二宮町公共施設の将来構想について
B：地域と学校のあり方
 - ⑥まとめ

<議会報告②③に関わる質疑応答>

参加者：住宅ストックは本当に住宅だけか、空き家を住宅として使うだけか。

添田議長：254軒のうち現在3軒が空き家バンクに登録している。その運用、活用が必要となる。調査の目的は、町内全体の空き家の分布傾向、所有者の希望から発生原因や特徴を明確化するものであった。流通促進を図るための基礎資料を作成するというのがある。

参加者：地域包括システムでは場所も何も与えられていない。自分の家を利用してやるのか、という思いを持つ人もいるなか空き家などを利用できないか。

添田議長：空き家を住宅以外に使用できるか否かは明確な答えがない。行政に確認して、HPに載せたいと思う。

追記：意見交換会後に企画政策課に確認したところ、「現在の補助制度では、住宅以外の利用は認められていない」とのことであった。

参加者：住宅ストック254軒のうち、3軒以外は空き家として放置されている。他の事業とのマッチングは何かしているのか。それからコミュニティバスの運行、利用したい時間帯に使えるバスがない。団地中央までしか行かない。回送として駅まで行くならそのまま二宮駅まで乗せて行ってほしい。

添田議長：住宅ストックに関しては、今後どうするのか詳しく聞いていない。HPを見るには単純にそれをマッチングするだけ。システムをつくったぐらい。担当課に聞いて議事録に載せる。

追記：意見交換会後に企画政策課に確認したところ、「今後の空き家対策にさらに役立てていく」とのことであった。

コミュニティバスについては、平成25年にやったときはルートを変えて、運行頻度を変えた。1日8回あったのを9回にしたぐらいで、たいして増えていない。ルート

を変更して利便性を高めたかったのだが、利用者は減ってしまい実際にはマッチしなかったということになる。利便性を増やして利用者数を増やし、その運賃でデマンドタクシーを走らせようと思っていたのに目論見が外れた。現在、町は町民の皆さまに説明会を開いている。

参加者：中学生までの医療費助成は、実際に今お金がない中で、本当に必要性があるのかどうか考える必要がある。スポーツを推進しますというわりには、袖が浦プールを休止し山西プール1つになってしまった。この先施策はあるのか。

小笠原議員：小児医療費助成については、27年度の予算、制度化するときには質疑があり、コンビニ受診のようなものが発生するのではないかと、1回診察を行ったのにまた他の病院に行ってしまうなど、不必要な重複受診が発生するのではないかとという心配はあった。10月からの半年だが60万円の増加だった、他の自治体からの差別化をして、アピールしていくためにも必要。費用対効果の面でいえば、このぐらいであれば二宮は子育て支援が手厚い、というアピールにはなっていくのではないかと。低所得者や母子家庭においては18歳まで無料なので、この制度をどこまでやるのかは、60万円でも今後は違うところに生かした方がいいのではないかとという議論も出てくるのかなと思っている。いつまでも無料でなんでもサービスする、ということとはできないと議論も出てくると思うが、何でも受益者負担というのも福祉の観点では違うと思う。

またプールは袖が浦を閉鎖したのはおかしいのではないかと議論があったが、前町長は「何を作ってくれ」というのも良いが、「〇〇はやめよう」という提案も同時にしてくれないと予算上困ると言っていた。袖が浦プールは塗り替え費用含め年間維持費が800万円位で、利用料収入が50万円位。水泳の授業では天候により使えなかった年がある。「休止」と言っていて「閉鎖」とは言っていない。再開して欲しいという声がどれぐらい出てくるのか。

参加者：利便性の良い駅前ナーサリーは、0、1、2歳の乳幼児の待機児童を解消するのに有効であったとのこと。他に保育事業で、一時預かりや特別保育を実施されたと聞いたが、病後児保育や特色ある保育事業の展開などはどうしていくか。

小笠原議員：ナーサリーができたときには待機児童はいなかったが今はいる。1か月前に3、4人いた。ずっと待機児童がいなかった。働くお母さんはもっと便利などころに行ってしまうとも聞いたことがあるが。うちの町で要望が多いのは、病児保育、病後児保育である。大磯は病後児保育はすでに始めている。議会の中でも要望は出ている。町の回答は研究していきます。との答弁にとどまっている。現実には働く親にとっては非常に大切だと思う。

参加者：まちづくりの総合事業。総合計画の基本中期計画の策定時という基本計画はいつからいつまでで、公共施設の再配置はこうですよというのがあれば教えて欲しい。町有地がいくつあって、それをどうしたら有効活用できるのかという点はいかがか。

添田議長：中期計画は28年度から30年度まで。町有地の有効活用検討委員会が問題が顕在化している中で設置された。正泉寺、東大果樹園跡地、小児病院跡地については、次の意見交換会資料で説明する。

参加者：町の事業を説明してもらっていると受け止めた。知りたいのは、議会がどう

いう議論をして、どう考えているのかを聞かせて欲しい。考え方とか、位置づけとか、スタンスとか、その辺はどうなのか。町の考え方の答弁を聞いている感じがする。
添田議長：部分部分で議会ではこういう議論があった、というのを説明の中で少しずつ入れている。今までの報告会の中でも一番入れているつもりである。今後の改善点などもお示しするのであれば、委員会審査や本会議での賛否の議論を出すということをしていく。

参加者：公共交通のデマンドは何年もやっていて課題も出ている。予算を決めたのは議会なのだから、点検して、提案して、承認しているわけで、議会として課題がどこにあるのかというのは知りたい。

添田議長：目的は、コミバスは神奈中が路線を廃止した地域に背に腹は代えられない中始めたと理解している。でも実際利用者がいない。公共交通の委員会で検討して、この計画をつくっており、運行ルートを変えて、頻度を少し高めて、固定費は変わらない中で、利用者を増やしてお金を得て、その分でタクシーを走らせるということで認めた。

ずっと言い続けてきたが、町は「試行」だと言っていた。改善します、改善しますと言って、こちら改善せよと言い続けている。

参加者：移動町長室と議会報告会とさほど変わらないと受け止められるので、議論をお願いしたい。

(以上の質疑応答の後、グループに分かれ意見交換会を開催)

意見交換会「平成 28 年 11 月 5 日 山西防災コミュニティセンター」要約

テーマ：「二宮町公共施設の将来構想について」

将来構想という大きな課題として意見交換を行った。町民参加者 11 名と議員 14 名で以下のようなブレーストーミング的な意見交換及び議会に対する質疑となった。

1. 国立小児病院跡地について

- 小児病院跡地売却を含めた活用にシバリがあるか。子どもの施設等に用途指定されていると聞いている。たとえば、売却し、売却益で庁舎等建設資金とすることは可能なのか？
- 他用途に資する場合、1 億 3 百万円の違約金を収めることが契約書にある。支払えば可能と解釈できる。(議会側から答弁)

追記：意見交換会后に企画政策課に確認したところ、「違約金支払の義務は発生しないと解釈している」とのことであった。

2. 未利用地の活用について

- 未利用地利活用について町の方針決定状況はどうなっているか。平成 29 年度に町民に公表する(素案は 2 月発表)との議会答弁あったが、そうであるか。
- 公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員として委員会の進行状況から鑑みて難しいと思われる。
- スピード感を持って取り組み方向性を決定すべきだ。

3. 正泉寺跡地について

- 正泉寺跡地を駐車場として使えないか。
- 役場下の細い道からしか入れなく、駐車場としての活用は道路環境で難しいと思われる。役場側からは段差あり過去にも検討されたが困難と判断された。
- 文化センターとしての活用する目的で、4 億円強で購入したが、その後ラディアンができ計画が無くなった。
- 自然環境を利用する施設とするような逆発想もあるのではないか。

4. 役場庁舎について

- 議会一般質問でも質疑されたが、更新や庁舎移転の結論がでていないのか。
- 結論は出ていない。

5. 公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員について

- 委員の選出はどのように行われたのか。また進捗状況はどのように確認できるのか。
- 委員の選出は公募なしで大学の先生と町民から町が選択した。議会から一人代表として委員となっている。委員は合計 6 名だ。傍聴は可能で、議事録や資料はホームページに公開されている。企画政策課が担当部署だ。

6. 全体として

- 町は5施設を選択した状況で留まっている。優先順位を提案し、コスト等の試算も行い、もう少し具体的な方向性を示して町民と議論するようなことをした方が良い。スピード感を持って進めてほしい。
- 今後施設を造っていくときには、色々な町民の基本理念やコンセプト等が反映できるシステムも必要。

- 町民参加者の意見又は質問
- 議員の個人意見又は答弁

意見交換会「平成 28 年 11 月 6 日 町民センター」要約

テーマ：「二宮町公共施設の将来構想について」

「地域と学校のあり方」

その他テーマを広げ意見交換

町民参加者 2 名と議員 14 名で以下のようなブレインストーミング的な意見交換及び議会に対する質疑となった。

1. 学校の建て替えや今後について

- 学校の統合時期はどのあたりを目指すのかというターゲットがあれば良い議論になる。
- 待っているは何も進まないなのでこの 10 年ぐらいでやるべきだ。
- 建て替えについて年額いくらかの試算が出ている。それに基づけば例えば二宮中は平成 40 年ぐらいでも良いのかなと思う。
- 公共施設検討委員会ではその話は具体的になっていないので教育委員会を呼んで勉強会をする必要があると話をしているところ。
- 教育長は将来的には小中一貫校でよいと考えているが学校の統合は町としての考えが示されていない、白紙だ。一色小学校は平成 30 年度のコミュニティスクール化を目指している、3 小学校で実施していくようだ。

2. 梅沢海岸の防災対策について

- 梅沢海岸に津波が来たら一触即発だ。関東大震災に出た噂が混乱を招いた過去もある。きちんと地区に対する対策があるのか。
- 梅沢では地区長中心に訓練内容をまとめておこなっている。エクレールのところでも特別避難訓練というものを行っている。建物の上に逃げてさらにそこから救出するという動きも訓練に取り入れている。

3. コミュニティバスについて

- 利用者がいない。例えば高齢者は無料で町運営のバスに乗るといのはどうなのか？
- デマンドタクシーを進めてきたがやめることになった。
- 今まで、デマンドタクシーの運行をコミバスの運行路線の工夫が大きな 2 点の試行。しかし利用率がどうしてもあがらない。家族利用が多く、乗合ということが広がらない理由でもある。公共交通と福祉の 2 面をどのように補い合うのかは課題である。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 町民参加者の意見又は質問➤ 議員の個人意見又は答弁 |
|--|

意見交換会「平成 28 年 11 月 6 日 百合が丘児童館」要約

テーマ：「二宮町公共施設の将来構想について」
「地域と学校のあり方」

「二宮町公共施設の将来構想について」

二宮町公共施設の将来構想について意見交換を行った。町民参加者 7 名と議員 7 名で以下のようなブレインストーミング的な意見交換及び議会に対する質疑となった。

1. 一般的な意見として

- 「二宮町公共施設再配置に関する基本方針」を出して 3 年、検討委員会等で検討しても今だ結論が出ない。スピード感がないのではないかな。

2. 地域集会施設について

- 地域集会施設は 1 施設しかないところがあるなど地域間の違いがあるが、基本的には地域自ら減らすことは難しいので町が指針出せ。
- 公園廃止の時に近隣住民が管理すれば残すと言われたことがある。同様に地域施設の一部を廃止する場合、住民管理にシフトする段階を踏むことも一案ではないか。
- 公共施設も公園も多く減らせる。如何に減らすかアクション起こすことだ。

3. 検討の進め方について

- 正泉寺、東大跡地検討委員会の結論は出ていない。公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会で白紙から提案せよということには無理を感じる。何か決定するための基準のようなものが必要だ。
- 町民間で議論するためにはデータや資料が必要だ。
- 公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会に提出された資料やデータは町ホームページで閲覧できる。
- この意見交換会での参加者の意見の利用方法だが、一般質問や政策提言等では十分ではない。議会も特別委員会を設置して検討すべき。
- 公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会の進め方について、進捗状況をチェックし公表しながら進めることが良い。そうすることで議論が深まり、また一部の人に責任がかかることも避けられる。

4. 財政上の問題

- 現状の経費を削減せずに公共施設の更新等は無理ではないか。将来に危機感も感じる。

5. 将来構想について

- 一つ一つの施設を個別に考えるのではなく全体として考える。例えば学校統合化した場合、空いた学校が耐震であれば役場に使える等。
人口減少を考慮するとコンパクトシティ化が必要ではないか。例えばラディアン周辺に公共施設を集約し、それに伴った公共交通システムを考えたらどうか。

「地域と学校のあり方」

地域と学校のあり方という大きな課題として意見交換を行った。

町民参加者6名と議員7名で以下のようなブレインストーミング的な意見交換及び議会に対する質疑となった。

1. 一色小学校について

- コミュニティスクール化すると聞いているが、今なぜコミュニティスクールなのか？
 - ▶ 条件はこの4つ（資料に記載）を満たしている。二宮町は評議員会とコミュニティスクールの委員がイコールになっている。
- わざわざ三鷹まで視察に行かなくても厚木市の清水小なども地域連携としては素晴らしいからぜひ研究してほしい。
 - ▶ 確かに横浜市などは半数がコミュニティスクールになっている。三鷹市は既に10年やっているので、長くやっている中での状況を見たい
- 小中一貫校の話し合いはされているのか？小学校の学区編成はどうなってるのか。江の浦小学校のように特区にして小さい学校を残す。あるいは二宮高校を巻きこむなどは考えているのか
 - ▶ 秦野市で実施している小中一貫校のメリットを見ている。小六で中一の勉強ができる。人的配置について県のお金で1人増やすことができる
- 学校の施設が空いてくる。秦野では消防署の例もあるがどのように活用するのか。
 - ▶ 議会としては予算審査意見として、一色小学校と百合が丘保育園の複合化を提言した。
- 県営住宅が活性化された場合に一色小がないと大変になる。池田小の事から学校の塀が高くなったが地域にとって遊びの場である小学校は大切だ。
- 昔は地域があって学校がある。今は学校があって地域がある、そこに壁がある。

2. 二宮西中への通学について

- コミュニティバスは昔、中学生が使うことも考慮したルートを設定したが、西中近くへの運行について考えて欲しい。
- みやま農道の中学生の通行ができるように監視カメラや照明をつけるなどして整備してはどうか。百合が丘3丁目の子どもたちの通学は1時間以上かかる。あそこが使えれば通学時間が短くなる。

3. その他コミバスについて

- 百合が丘は高齢化してきていて、買い物した帰りのこともあるので団地中央には止まってほしい。団地中央 — 川匂 — 駅、というルートは大変便利である。

4. 全体として

- 一色小学校を中心として地域連携する取り組みにはまだ共有認識ができあがっておらず、コミュニティスクールや小中連携教育について情報発信することは課題であるし、あり方については、学校と地域を交えて話をする必要性も出てくる。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 町民参加者の意見又は質問➤ 議員の個人意見又は答弁 |
|--|